

TX381Hにて  
・引込不良  
・S2エラー  
等が発生する。

機器写真



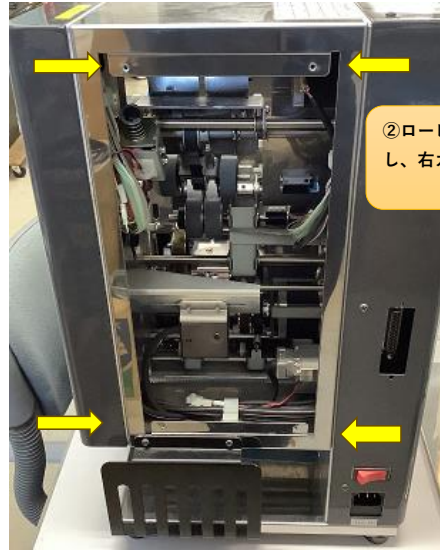
手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) ホッパー部 各ローラーの清掃をする

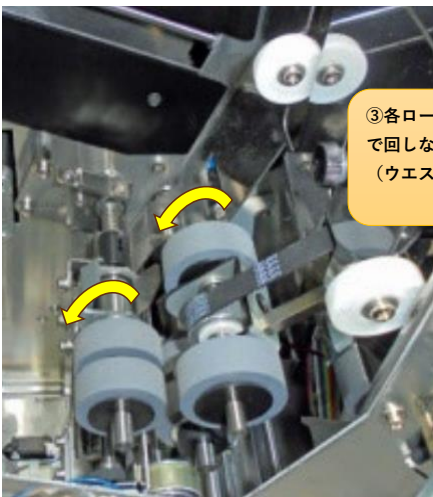
引込・搬送ローラーを手で回しながらウエス(アルコールを染み込ませたもの=OA機器清掃用アルコールウェットティッシュで代用可)で清掃する。



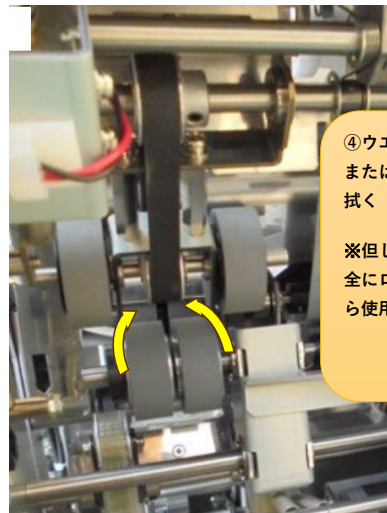
① 押えトレイを上引き、  
下部カバーをはね上げる



② ローレットねじ4本を外し、  
右カバーを外す



③ 各ローラー (6個) を手  
で回しながら柔らかい布  
(ウエス) などで拭く



④ ウエスにはアルコール  
またはお湯などを付けて  
拭く

※但し、お湯の場合は完全  
にローラーが乾いてから  
使用する

2) テスト/実処理を行って下さい

- ・直った → 実処理を続けて下さい
- ・直らない → ローラー交換へ

TX381Hにて  
・引込不良  
・S2エラー

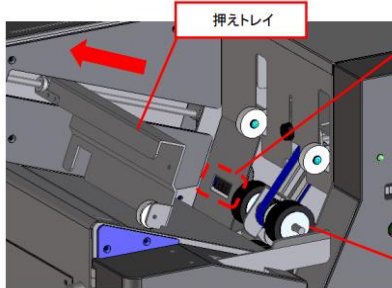
等が発生する。

機器写真



手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

● ホッパー部ローラーとエンティセンサーの清掃



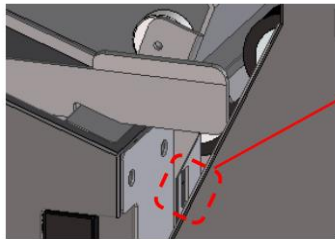
エンティセンサー

ローラー清掃  
アルコールを湿らせたウエスでローラーの汚れを  
ふき取る

エンティセンサーの清掃  
綿棒、エアダスターなどで掃除する

ローラー

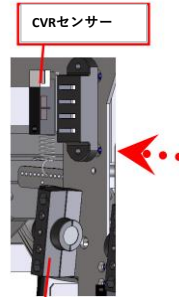
● S1センサーの清掃



S1センサー

S1センサーの清掃  
綿棒、エアダスターなどで掃除する

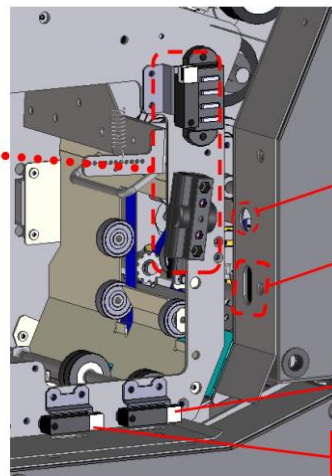
● 走行部センサーの清掃



CVRセンサー

【右側から見た図】

DBLセンサー(左)



DBLセンサー(右)

S2センサー

S3センサー

S6センサー

オープンカバーを開けて  
センサー面を綿棒  
エアダスターなどで掃除する

下側の面を綿棒  
エアダスターで清掃する

TX381Hにて

・S2エラー19 等が発生する。異音をとまなうこともある。

機器写真



手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) フィードボタンを押す

① 異音がする/エラーが出る

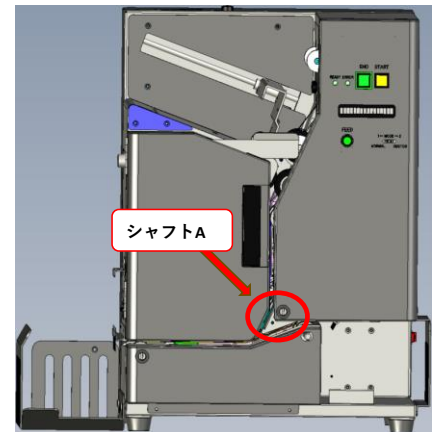
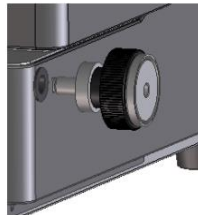
2) 用紙除去用ノブを使用する

① 用紙除去用ノブにて、シャフトAを回す

② 回転がスムーズになった

→直った可能性があります、テスト/実処理を行って下さい

回転がスムーズにならない・回転が重い →3)へ



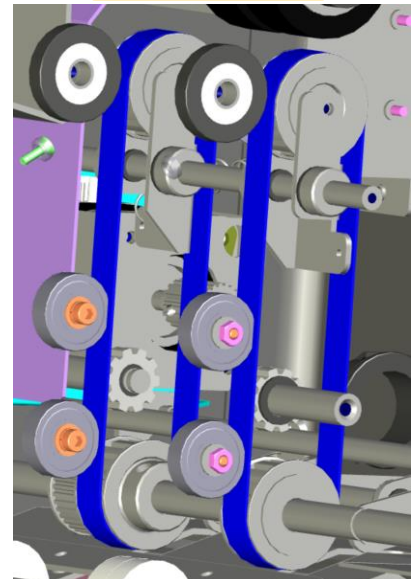
3) ベルトが外れていないか確認する

① 搬送ベルトが外れていた場合、ベルトをゆっくり回しながらプーリーに掛け直す

① ホッパーカバー、  
オープンカバーを  
開ける

② 搬送部ローラーブラケット  
を開ける

搬送ベルトが正常に掛かっ  
ているイメージ図

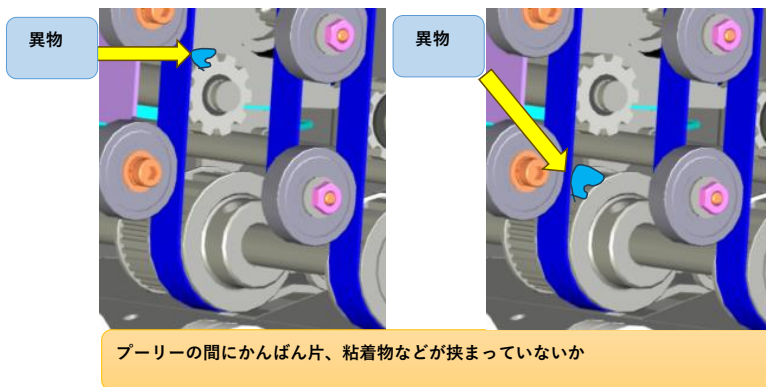


- ②ベルトがうまく掛けられない、狭くて見えづらい  
→右側面カバーを開け、採光などをしてベルトを掛ける



- ③ベルトが外れていない →4)へ

- 4)ベルトやプーリーに紙片/粘着物が詰まっているか確認する



- ①回転がスムーズになった →直った可能性があります テスト/実処理を行って下さい  
②回転がスムーズにならない・回転が重い →保守員が伺います

TX381Hにて  
 ・S2エラー18,19  
 ・S6エラー39  
 ・S7エラー46,48  
 等が発生する。異音をとまなうこともある。

機器写真



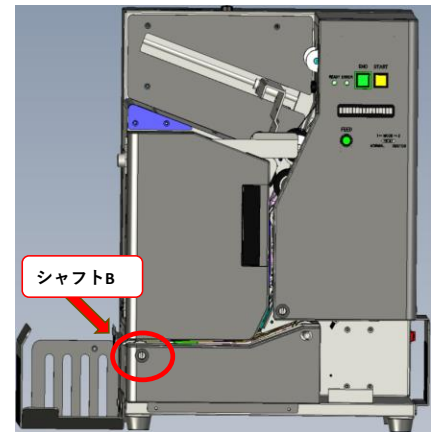
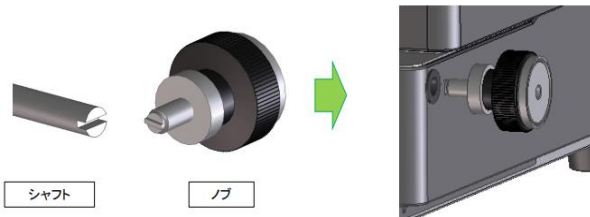
手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) フィードボタンを押す

① 異音がする／エラーが出る

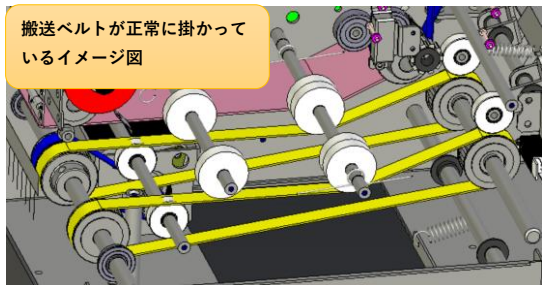
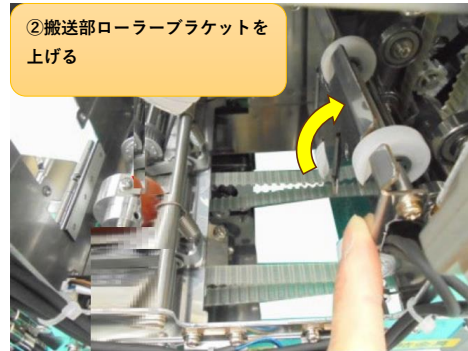
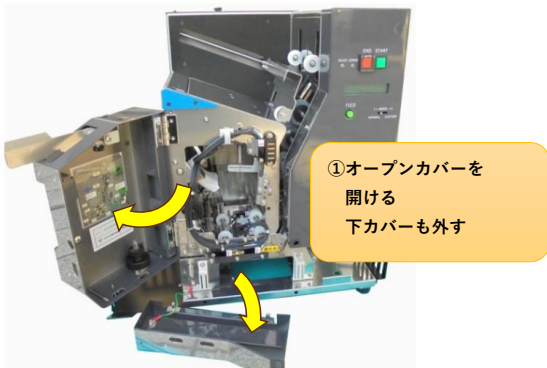
2) 用紙除去用ノブを使用する

- ① 用紙除去用ノブにて、シャフトBを回す →直った可能性があります、テスト／実処理を行って下さい
- ② 回転がスムーズになった
- 回転がスムーズにならない・回転が重い →3)へ



3) ベルトが外れていないか確認する

① 搬送ベルトが外れていた場合、ベルトをゆっくり回しながらプーリーに掛け直す

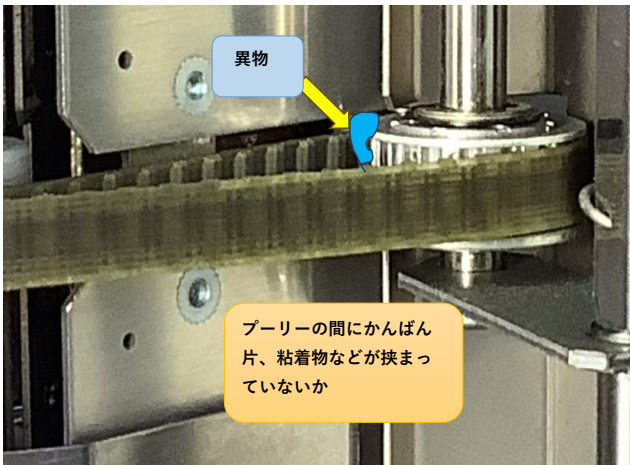


- ②ベルトがうまく掛けられない、狭くて見えづらい  
→場所に余裕があれば機器を寝かせてベルトを掛ける



- ③ベルトが外れていない →4)へ

- 4)ベルトやプーリーに紙片/粘着物が詰まっているか確認する



- ①回転がスムーズになった →直った可能性があります テスト/実処理を行って下さい

- ②回転がスムーズにならない・回転が重い →保守員が伺います

TX381Hにて  
・かんぱんジャムエラー発生。  
・搬送ベルトが外れない除去の方法

機器写真



手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) フィードボタンを押す



かんぱんが詰まった際  
まずはSTARTスイッチ・FEEDボタンにて排出しますが  
それでも搬送路に残ってしまう場合下記方法にて  
かんぱんを取り出してください

2) かんぱんを引き出す(縦搬送)



横に引っ張り除去するとベルトが外れる恐れがあります。  
ノブを使用して除去、または進行方向にゆっくり動かして  
除去してください



シャフト



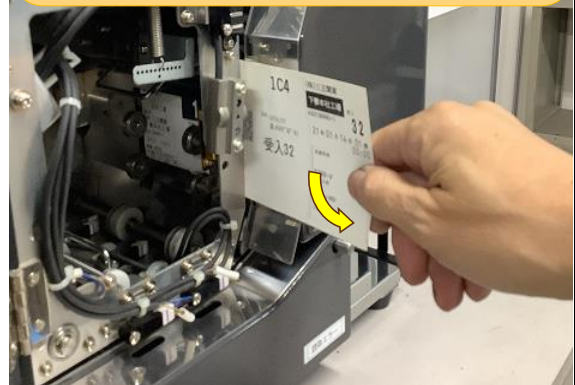
ノブ



①搬送部ローラーブラケットを開けて  
シャフトAを回し、紙の駆動が切れる所  
(紙が噛んでいない所) まで持って行きます



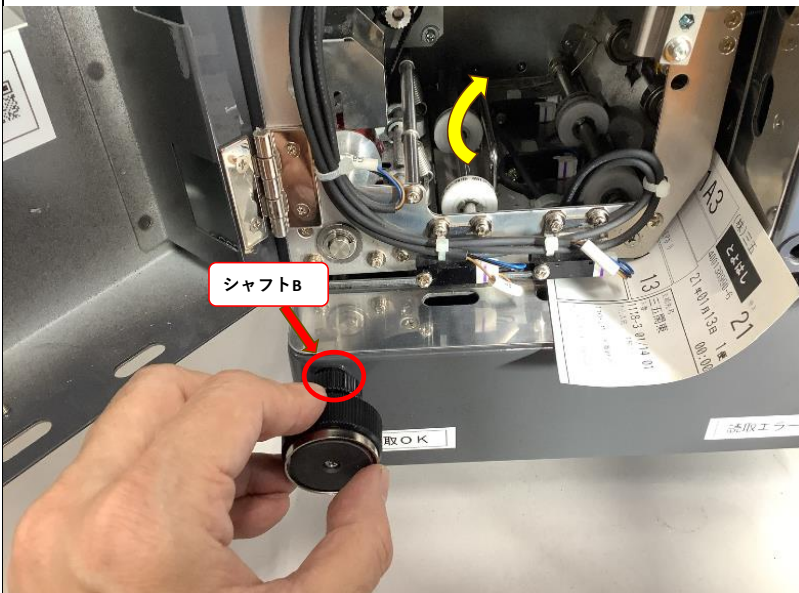
②ゆっくり紙を引き抜いてください。  
駆動が切れていない所では  
斜めにゆっくり引き抜きます



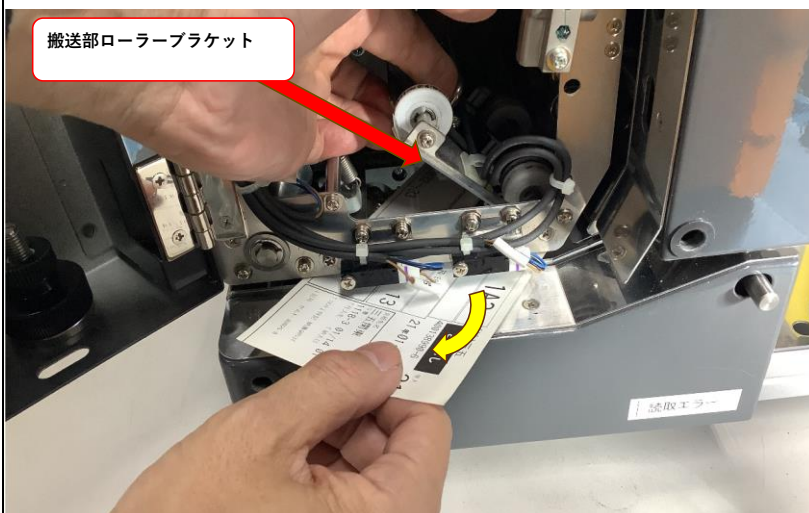
3)かんばんを引き出す(横搬送)



横に引っ張り除去するとベルトが外れる恐れがあります。  
ノブを使用して除去、または進行方向にゆっくり動かして除去してください



①搬送部ローラーブラケットを開けてシャフトBを回し、紙の駆動が切れる所(紙が噛んでいない所)まで持って行きます



②ゆっくり紙を引き抜いてください。  
駆動が切れていない所では斜めにゆっくり引き抜きます



トラブル内容

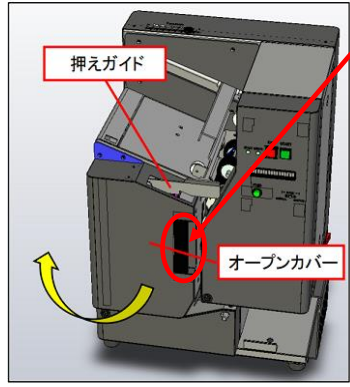
TX381Hにて  
 ・引込不良(斜めになる)  
 ・S2エラー  
 }等が発生する。

機器写真

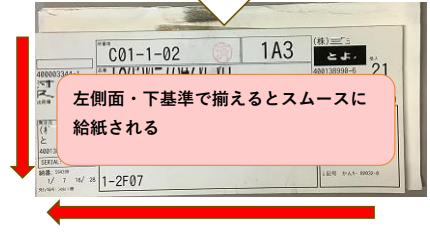
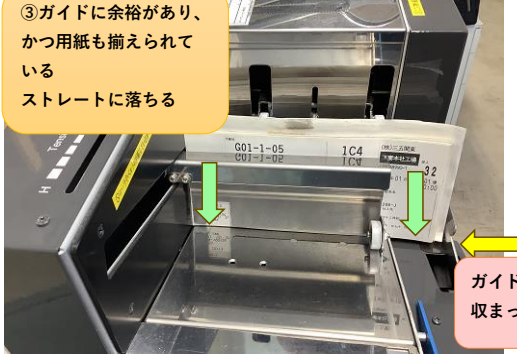
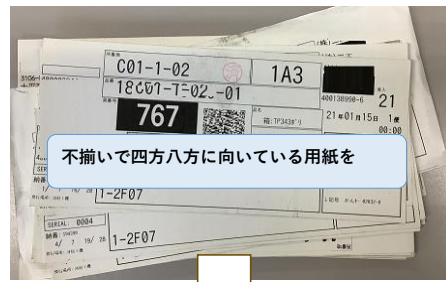


手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) ホッパー部 用紙ガイドをチェックする



カバーを開ける際は押えガイドを触らずに黒い部分をつかんで開閉してください  
 ※押さえガイドは変形や位置ズレしやすい為開閉の際触らないでください



- 2) テスト/実処理を行って下さい
- ・直った → 実処理を続けて下さい
  - ・直らない → ローラー交換へ
  - ローラー交換したかNG → 保守員が伺います

TX381Hにて  
・S3エラー-20  
・S6エラー-38,39

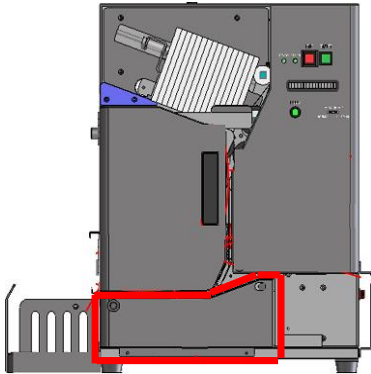
等が発生する。

機器写真



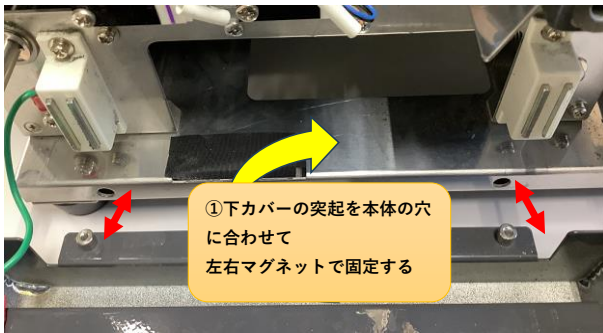
手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) 下カバーがずれていないか確認する  
(図中赤く囲っているカバー)

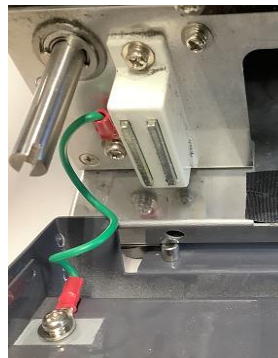


下カバーを手で触ってガタつきがない事

2) ずれていたら下カバーを再取付する



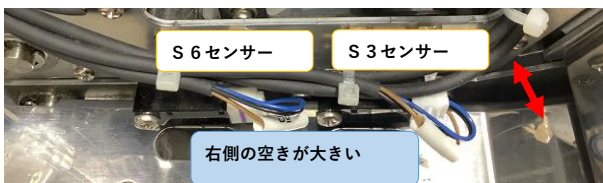
① 下カバーの突起を本体の穴に合わせて  
左右マグネットで固定する



② 下カバーと本体を繋ぐアース線を  
挟み込まない様に注意する

※アース線が挟まれていると  
下カバーが浮いてしまい  
センサーエラーが発生する

例: S3エラー-20の場合



例: S6エラー-38の場合



例: S6エラー-39の場合 (S3エラー-20になる場合もある)

